



## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月12日  
東

上場会社名 株式会社京写 上場取引所  
 コード番号 6837 URL <https://www.kyosha.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 児嶋 一登  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 平岡 俊也 (TEL) 075-631-3193  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月23日 配当支払開始予定日 2023年6月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	24,462	14.6	671	40.3	619	20.6	△485	—
2022年3月期	21,337	23.1	478	385.0	513	221.4	289	—

(注) 包括利益 2023年3月期 102百万円(△89.3%) 2022年3月期 961百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	△33.78	—	△6.7	2.8	2.7
2022年3月期	20.18	—	4.3	2.6	2.2

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	23,879	7,446	30.3	502.53
2022年3月期	20,894	7,395	34.4	501.72

(参考) 自己資本 2023年3月期 7,233百万円 2022年3月期 7,189百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	1,502	△1,324	1,470	5,091
2022年3月期	△1,018	△698	1,338	3,161

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00	71	24.8	1.1
2023年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00	43	—	0.6
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	9.00	9.00		23.1	

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	2.2	1,000	48.8	830	34.0	560	—	38.97

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	14,624,000株	2022年3月期	14,624,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期	229,487株	2022年3月期	294,287株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	14,369,638株	2022年3月期	14,329,713株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	9,104	0.0	119	△57.6	487	△12.4	427	△17.5
2022年3月期	9,100	8.1	281	—	556	74.6	518	75.7
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期	29.76		—					
2022年3月期	36.16		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2023年3月期	15,021		6,692		44.6	464.96		
2022年3月期	13,713		6,335		46.2	442.12		

(参考) 自己資本 2023年3月期 6,692百万円 2022年3月期 6,335百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

2. 当社は2023年5月29日（月）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の当社が属するプリント配線板業界は、国内外共に経済活動の正常化が進み、概ね堅調に推移しましたが、依然として自動車向けの半導体不足や急激な為替変動による原材料、エネルギー価格の高騰が続いていることから、先行きは不透明な状況にあります。

このような環境の中、当社グループの国内の状況は、プリント配線板事業では、主力の自動車関連分野で半導体や部品不足による生産調整の影響を受け、受注は低調に推移しました。実装関連事業では、産業機器や通信機器向けの受注好調に加え、低迷していた航空機向けも回復基調の結果、国内の売上高は前年同期を上回りました。

海外においては、自動車関連分野を中心とした新規顧客と新商品の売上が寄与し、受注は好調に推移しました。また、前期に稼働したベトナムは引き続き順調に推移し、自動車関連分野を中心に大幅に売上を伸ばしました。これらの結果、連結売上高は24,462百万円（前年同期比14.6%増 3,125百万円の増収）となりました。

利益面は、国内の自動車生産調整の影響と、主材料等の価格や電力料等の製造経費が高騰したものの、ベトナム子会社や実装関連事業の業績が大きく改善した結果、営業利益は671百万円（前年同期比40.3%増 193百万円の増益）、経常利益は619百万円（前年同比20.6%増 105百万円の増益）、親会社株主に帰属する当期純損失は特別損失に当社の子会社であるKyosha Hong Kong Company Limitedの取引先に対する売掛債権等836百万円を投資有価証券評価損251百万円及び貸倒引当金繰入額585百万円として計上したことにより485百万円（前年同期比774百万円の減益）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (総資産)

当連結会計期間末における総資産は、主に現金及び預金の増加1,933百万円、有形固定資産の増加980百万円等により、23,879百万円（前連結会計年度末比2,985百万円の増加）となりました。

#### (負債)

当連結会計期間末における負債は、主に支払手形及び買掛金の増加328百万円、短期借入金の増加560百万円、長期借入金の増加1,610百万円等により、16,432百万円（前連結会計年度末比2,933百万円の増加）となりました。

#### (純資産)

当連結会計期間末における純資産は、主に利益剰余金の減少556百万円、為替換算調整勘定の増加662百万円等により、7,446百万円（前連結会計年度末比51百万円の増加）となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度より1,929百万円増加し、5,091百万円となりました。各活動別のキャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加額は、1,502百万円（前年同期は1,018百万円の減少）となりました。これは主に減価償却費947百万円、売上債権の減少429百万円、棚卸資産の減少235百万円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少額は、1,324百万円（前年同期は698百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1,312百万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加額は、1,470百万円（前年同期は1,338百万円の増加）となりました。これは主に長期借入れによる収入1,986百万円、長期借入金の返済による支出476百万円によるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率(%)	43.4	38.1	34.8	34.4	30.3
時価ベースの自己資本比率(%)	32.1	18.8	25.1	23.0	17.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	4.3	30.1	22.0	—	7.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	19.3	4.3	4.8	—	11.0

自己資本比率：自己資本／総資本

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産額

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベース財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(注5) 2022年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症による行動制限が無くなり、景気の回復が期待されていますが、世界的な金融引締めによる政策金利の上昇や為替変動、さらにロシア・ウクライナ情勢による原材料、エネルギー価格の高騰など不確定要素が多く、世界経済の先行きは依然不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社は新規顧客開拓や新商品開発を推進し、ものづくり競争力の向上、間接業務の効率化により、収益力の強化を図り、企業価値の向上に取り組んでまいります。

また、前期に発生した子会社における自動車向け製品の生産移管については、当該取引先から仕入していた製品について、当社ベトナム工場や国内工場に生産移管を完了しており、来期業績への影響はございません。ベトナム工場は、旺盛な自動車向け需要に加えて、本件生産移管に伴い生産量が増加し、生産ラインの増設対応を進めています。

これらにより、次期(2024年3月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高25,000百万円、営業利益1,000百万円、経常利益830百万円、親会社株主に帰属する当期純利益560百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,299	5,233
受取手形及び売掛金	3,904	3,652
電子記録債権	980	946
製品	2,078	2,407
仕掛品	580	560
原材料及び貯蔵品	1,756	1,666
その他	1,121	1,489
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	13,715	15,950
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,823	5,255
減価償却累計額	△3,242	△3,526
建物及び構築物(純額)	1,580	1,729
機械装置及び運搬具	9,760	11,481
減価償却累計額	△6,578	△7,427
機械装置及び運搬具(純額)	3,181	4,054
土地	724	724
建設仮勘定	198	23
その他	1,490	1,645
減価償却累計額	△1,007	△1,026
その他(純額)	483	618
有形固定資産合計	6,168	7,149
無形固定資産	31	25
投資その他の資産		
投資有価証券	579	348
繰延税金資産	84	80
長期滞留債権	—	594
その他	316	328
貸倒引当金	△0	△596
投資その他の資産合計	979	755
固定資産合計	7,178	7,929
資産合計	20,894	23,879

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,597	2,925
電子記録債務	900	976
短期借入金	4,489	5,049
1年内返済予定の長期借入金	476	465
リース債務	46	46
未払法人税等	204	187
賞与引当金	201	221
その他	759	1,010
流動負債合計	9,675	10,884
固定負債		
長期借入金	3,210	4,821
リース債務	71	73
退職給付に係る負債	417	498
その他	123	155
固定負債合計	3,824	5,548
負債合計	13,499	16,432
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,102	1,102
資本剰余金	1,172	1,186
利益剰余金	4,204	3,648
自己株式	△33	△25
株主資本合計	6,446	5,910
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	83	67
繰延ヘッジ損益	△51	△74
為替換算調整勘定	733	1,396
退職給付に係る調整累計額	△22	△67
その他の包括利益累計額合計	742	1,322
非支配株主持分	205	213
純資産合計	7,395	7,446
負債純資産合計	20,894	23,879



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	21,337	24,462
売上原価	17,977	20,519
売上総利益	3,359	3,943
販売費及び一般管理費	2,880	3,271
営業利益	478	671
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	5	7
為替差益	—	38
仕入割引	18	18
受取手数料	13	7
雇用調整助成金	72	26
雑収入	29	51
営業外収益合計	144	158
営業外費用		
支払利息	62	197
為替差損	18	—
売上債権売却損	5	2
雑損失	23	9
営業外費用合計	110	210
経常利益	513	619
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産売却損	4	5
固定資産除却損	14	13
事業整理損	2	—
製品保証損失	16	—
投資有価証券評価損	—	251
貸倒引当金繰入額	—	585
その他	—	0
特別損失合計	38	855
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	476	△234
法人税、住民税及び事業税	219	222
法人税等調整額	△14	34
法人税等合計	204	256
当期純利益又は当期純損失(△)	272	△490
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△16	△5
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	289	△485

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	272	△490
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	△15
繰延ヘッジ損益	△27	△22
為替換算調整勘定	676	676
退職給付に係る調整額	52	△45
その他の包括利益合計	689	593
包括利益	961	102
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	959	94
非支配株主に係る包括利益	1	7

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,102	1,172	3,915	△33	6,157
当期変動額					
剰余金の配当					—
親会社株主に帰属する当期純利益			289		289
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	289	—	289
当期末残高	1,102	1,172	4,204	△33	6,446

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他の有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	95	△24	73	△72	72	203	6,433
当期変動額							
剰余金の配当							—
親会社株主に帰属する当期純利益							289
自己株式の処分							—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△12	△27	659	50	670	1	672
当期変動額合計	△12	△27	659	50	670	1	961
当期末残高	83	△51	733	△22	742	205	7,395

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,102	1,172	4,204	△33	6,446
当期変動額					
剰余金の配当			△71		△71
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△485		△485
自己株式の処分		13		7	20
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	13	△556	7	△536
当期末残高	1,102	1,186	3,648	△25	5,910

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	83	△51	733	△22	742	205	7,395
当期変動額							
剰余金の配当							△71
親会社株主に帰属する当期純損失(△)							△485
自己株式の処分							20
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△15	△22	662	△45	580	7	588
当期変動額合計	△15	△22	662	△45	580	7	51
当期末残高	67	△74	1,396	△67	1,322	213	7,446

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	476	△234
減価償却費	850	947
引当金の増減額 (△は減少)	13	604
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2	65
受取利息及び受取配当金	△10	△15
支払利息	62	197
有形固定資産除売却損益 (△は益)	18	17
事業整理損	2	—
製品保証損失	16	—
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	—	251
その他の特別損益 (△は益)	—	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△103	429
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,778	235
仕入債務の増減額 (△は減少)	△173	△27
その他	△116	△593
小計	△740	1,878
利息及び配当金の受取額	10	14
利息の支払額	△58	△136
法人税等の支払額	△230	△254
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,018	1,502
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△3
定期預金の払戻による収入	3	—
有形固定資産の取得による支出	△593	△1,312
無形固定資産の取得による支出	△2	△3
有形固定資産の売却による収入	4	5
投資有価証券の取得による支出	△110	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△698	△1,324
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,437	86
長期借入れによる収入	274	1,986
長期借入金の返済による支出	△315	△476
配当金の支払額	△0	△70
リース債務の返済による支出	△57	△55
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,338	1,470
現金及び現金同等物に係る換算差額	181	281
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△197	1,929
現金及び現金同等物の期首残高	3,359	3,161
現金及び現金同等物の期末残高	3,161	5,091

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主にプリント配線板及びこれに付随する電子部品等の製造販売をしており、国内においては、当社、三和電子株式会社が、海外においては中国をKyosha Hong Kong Company Limited、Guangzhou Kyosha Circuit Technology Co., Ltd.、Kyosha North America, Inc.、Kyosha(Thailand)Co., Ltd.、Kyosha Malaysia Circuit Technology Sdn.Bhd.、Guangzhou Kyosha Trading Company、Kyosha Korea Co.,Ltdが、インドネシアをPT. Kyosha Indonesiaが、メキシコをKyosha de Mexico, S.A. de C.V.が、ベトナムをKyosha Vietnam Co., Ltd.が、それぞれ担当しております。各社はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失及びその他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計
	日本	中国	インド ネシア	メキシコ	ベトナム	
売上高						
外部顧客への売上高	9,125	10,431	1,542	55	182	21,337
セグメント間の内部売上高 又は振替高	522	971	491	30	406	2,422
計	9,647	11,403	2,034	85	588	23,759
セグメント利益(△はセグメント 損失)	239	644	14	5	△422	481
その他の項目						
減価償却費	295	262	62	4	227	852

(注) 当社は事業セグメントに資産を配分しておりません。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計
	日本	中国	インド ネシア	メキシコ	ベトナム	
売上高						
外部顧客への売上高	9,222	12,589	2,158	47	444	24,462
セグメント間の内部売上高 又は振替高	623	962	581	47	1,706	3,922
計	9,846	13,552	2,739	95	2,151	28,385
セグメント利益(△はセグメント 損失)	189	699	△13	△0	△178	696
その他の項目						
減価償却費	280	298	61	5	303	949

(注) 当社は事業セグメントに資産を配分しておりません。

## 4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	23,759	28,385
「その他」の区分の売上高	—	—
セグメント間取引消去	△2,422	△3,922
連結財務諸表の売上高	21,337	24,462

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	481	696
「その他」の区分の利益	—	—
セグメント間取引消去	△2	△24
連結財務諸表の営業利益	478	671

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	852	949	—	—	—	—	852	949

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	501円72銭	502円53銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	20円18銭	△33円78銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	なお、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益については、潜在株式が 存在しないため記載していません。	なお、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益については、潜在株式が 存在しないため記載していません。

(注) 1. 1株当たり当期純利益又は1株当たりの当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	289	△485
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	289	△485
普通株式の期中平均株式数(千株)	14,329	14,369

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	7,395	7,446
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	205	213
(うち非支配株主持分)(百万円)	(205)	(213)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	7,189	7,233
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数(千株)	14,329	14,394

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。